

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成24年1月26日(2012.1.26)

【公開番号】特開2011-48368(P2011-48368A)

【公開日】平成23年3月10日(2011.3.10)

【年通号数】公開・登録公報2011-010

【出願番号】特願2010-185776(P2010-185776)

【国際特許分類】

G 0 9 F 3/02 (2006.01)

【 F I 】

G 0 9 F 3/02 U

【手続補正書】

【提出日】平成23年12月2日(2011.12.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

対象物の温度を提示する装置であって、

第 1 の面から、この面とは反対の第 2 の面へ蒸気を放出することができるように構成された穿孔を有する多孔質基材と、

第 1 相変化温度を有する第 1 の相変化インクを用いて、前記多孔質基材の第 1 の面に印刷される第 1 画像パターンの鏡像と、

前記多孔質基材の第 1 の面に塗布されて、第 1 の面と対象物との間に第 1 画像パターンを配置するために、対象物に前記多孔質基材の第 1 の面を貼り付けられるようにする接着剤層と、を含む装置。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の装置であって、

前記相変化インクは、疎水性である、装置。

【請求項 3】

請求項 1 に記載の装置であって、

第 2 相変化温度を有する第 2 の相変化インクを用いて、前記多孔質基材の前記第 1 の面に印刷される第 2 画像パターンの鏡像を更に含み、

前記第 1 相変化温度は、前記第 2 相変化温度よりも低い温度である、装置。

【請求項 4】

請求項 1 に記載の装置であって、

前記第 1 の相変化インクは黒色である、装置。

【請求項 5】

請求項 1 に記載の装置であって、

前記第 1 画像パターンの前記鏡像は、同じ相変化温度を有する少なくとも 2 種類の相変化インクを用いて印刷され、前記鏡像の印刷に用いられる前記 2 種類の相変化インクは、異なる色を有する、装置。

【請求項 6】

請求項 1 に記載の装置であって、

前記相変化インクと前記接着剤層の間に設けられる熱絶縁層を更に含む、装置。

【請求項 7】

温度を提示する物を製造する方法であって、

第 1 画像パターンの鏡像を形成するために、多孔質基材の第 1 の面に第 1 の相変化インクを印刷し、

多孔質基材の第 2 の面へ多孔質基材を通して第 1 の面の蒸気を放出することができるように、多孔質基材に孔をあけ、

多孔質基材の第 1 の面に接着剤を塗布し、

第 1 の面に印刷された鏡像が多孔質基材と対象物との間に差し込まれるようにして、塗布された接着剤により多孔質基材を対象物に貼り付ける、方法

【請求項 8】

請求項 7 に記載の方法であって、

接着剤層は、多孔質基材上に印刷された鏡像を覆うように塗布される、方法。

【請求項 9】

請求項 8 に記載の方法であって、

相変化インクと接着剤層の間に熱絶縁層を更に配置する、方法。

【請求項 10】

請求項 7 に記載の方法であって、

接着剤層と対象物の間に熱絶縁層を更に配置する、方法。